

令和4(2022)年度 基盤研究(S) 審査結果の所見

| | |
|-------------------------|---|
| 研究課題名 | 匂いの時空間揺らぎ情報に基づく人探索 |
| 研究代表者 | 林 健司 (九州大学・システム情報科学研究院・教授) ※令和4(2022)年6月末現在 |
| 研究期間 | 令和4(2022)年度～令和8(2026)年度 |
| 科学研究費委員会審査・評価第二部会における所見 | <p>【課題の概要】 本研究は、光化学ナノプローブを二次元展開した化学イメージングデバイスの高度化と、ロボット探索との組合せによる匂いの時空間揺らぎ・分布の計測技術への応用展開を目指すものである。</p> <p>【学術的意義、期待される研究成果等】 様々なガス種が混在する環境において、検出対象とする複数のガス種に対する選択性や感度の線形性・ダイナミックレンジ、感度や応答速度の温度依存性に対する基礎的理解とそれらの制御手法の開発に関する研究成果が期待できる。また、実環境での匂い源探索において重要となる湿度やエアロゾル・粉塵の影響、気流の乱れや風向変化に対する知見に基づいて、高信頼計測のための有効な対策を講じる指針が得られると期待できる。</p> |